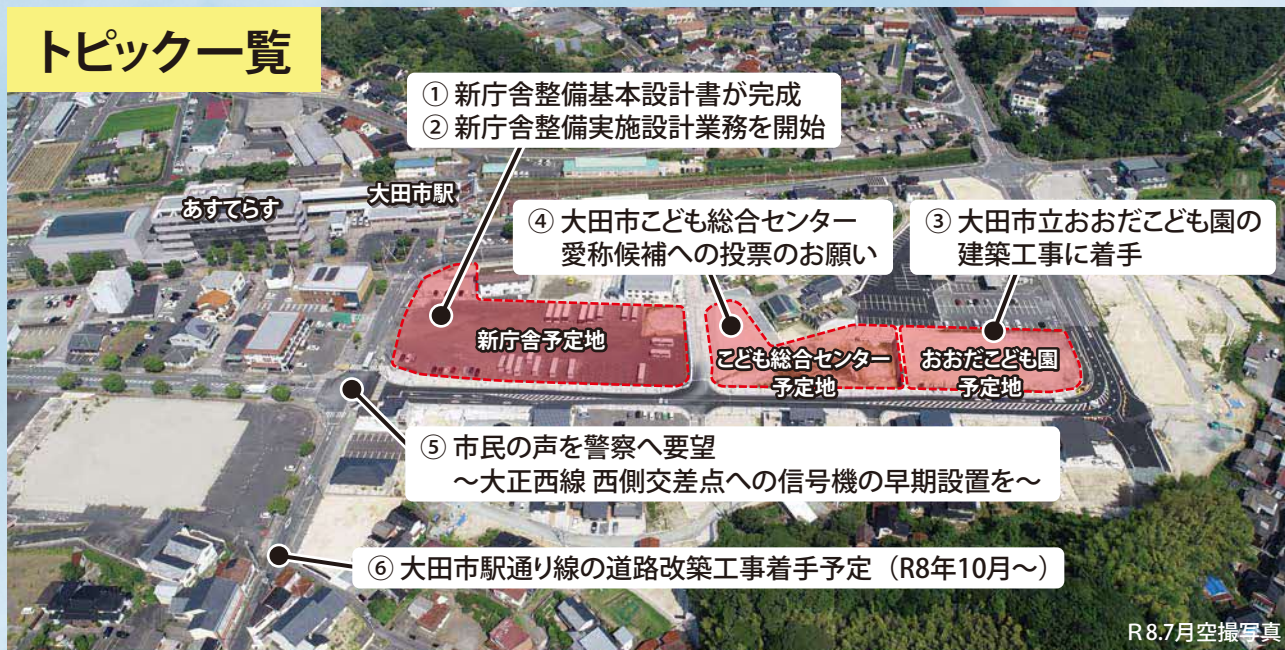


大田市駅前周辺 整備だより



令和8年 秋号

トピック一覧



R8.7月空撮写真

① 新庁舎整備基本設計書が完成

令和6年3月策定の「大田市新庁舎整備基本計画」で示した「基本理念」や「基本方針」に基づき、令和8年6月に「大田市新庁舎整備基本設計書」が完成しました。

この設計書は、庁舎の基本的なレイアウトや整備方針について、さまざまな観点から記載しています。

今後、実施設計業務を行い、令和10年度からの着工、令和12年度中の供用開始を予定しています。



基本設計書
リンク



庁舎外観イメージ

② 新庁舎整備実施設計業務を開始

令和8年7月1日、新庁舎整備実施設計業務を開始しました。

この業務については、基本設計業務を委託した「佐藤総合計画・コラム建築設計事務所 設計業務特別共同企業体」と、引き続き随意契約により業務を行います。

【契約金額】 200,023,300円（税込）

【契約期間】 令和8年7月2日から令和9年9月30日まで



庁舎内部イメージ（1階コミュニティホール）

③ 大田市立おおだこども園の建築工事に着手

大田幼稚園と大田保育園を統合して、幼稚園と保育所のいずれの機能も持つ施設として整備する「大田市立おおだこども園」の工事に、着手しました。

令和9年9月の竣工・供用開始を目指して工事をを行います。工事期間中は工事車両の通行等ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



おおだこども園外観イメージ

④ 大田市こども総合センター 愛称候補への投票のお願い

「おおだこども園」の隣の敷地に、妊娠・出産・子育てに関する支援施設「大田市こども総合センター」を整備しています。

令和10年度中の供用開始を予定しています。

このたび、7～8月に市民の皆さまからご応募いただいた愛称候補の中から、投票対象となる5点を選定し、決選投票を行っています。

あなたが親しみを感じる愛称に、ぜひご投票ください！

投票方法や候補の詳細については、大田市公式ホームページをご覧ください。



投票ページ

(締切：令和8年10月4日)



施設内プレイルームイメージ



おおだこども園・こども総合センターの遠景イメージ

⑤ 市民の声を警察へ要望 ～大正西線 西側交差点への信号機の早期設置を～

令和8年6月30日、JR大田市駅周辺の新しい都市計画道路「大正西線」が開通し、まちのアクセスがより便利になりました。

この大正西線の西側交差点（駅通り線との交差点）には、現在信号機が無く、開通後、市民の皆様から、児童・生徒の通学時をはじめとする交通安全への懸念や、信号機の早期設置を求める声が市へ多数寄せられていました。

こうしたみなさまの切実な声を受け、8月17日、楫野市長が小川市会議長とともに島根県警察本部を訪問し、本交差点への信号機を早期に設置するよう、強く要望活動を行いました。

要望活動では、市内15団体の現状の交通安全に対する不安の声を直接伝えるとともに、今後の駅周辺での整備事業の進展に伴う工事車両の増加を見据え、予防的措置としての信号機設置の重要性を強く訴えました。

市では、市民のみなさまが安全かつ安心して日々の生活を送れる環境を整備することが行政の最も重要な責務であると考えています。

今後も、信号機の早期設置が実現されるよう、引き続き関係機関と緊密に連携を図りながら、全力で取り組みます。



現在の大正西線 西側交差点の様子



要望活動の様子

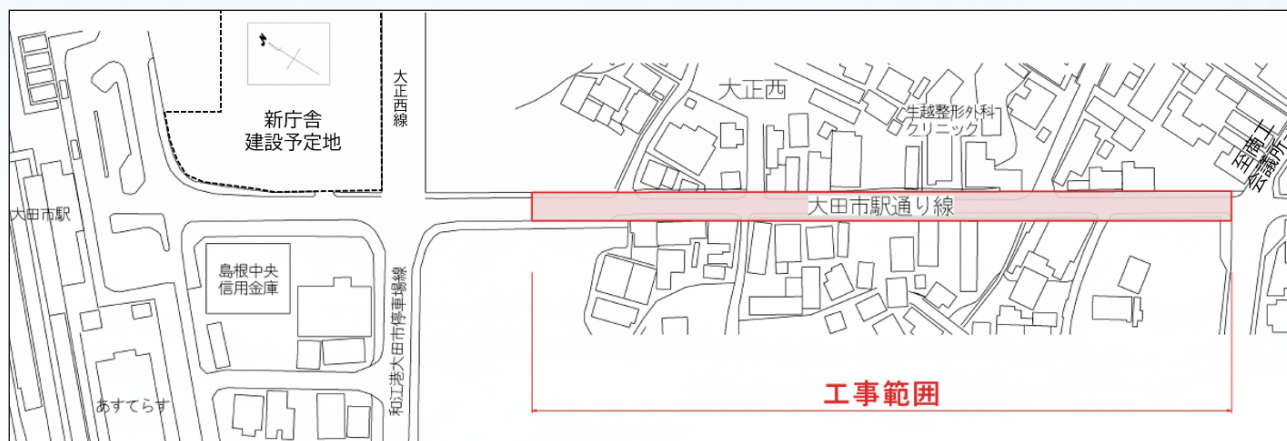
⑥ 大田市駅通り線の道路改築工事着手予定（R8年10月～）

令和8年10月から、大田市駅通り線の道路改築工事に着手します。

歩行者空間の快適性確保のため、歩道の拡幅、道路フラット化・美装化、電線類の地中化、上

下水道整備を一体的に行い、誰もが安全で利用しやすい道路環境を整備します。

工事期間中は交通規制等でご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



駅通り線道路改築工事の範囲

新庁舎整備 Q&A



新庁舎
よくある質問

Q1 どうして今、新庁舎整備が必要なのですか。

A1

- ・ 現庁舎は耐震性が不足しており、災害対応や通常業務の継続ができる庁舎が必要です。
- ・ 市民が使いやすいようバリアフリーや省エネ、D X化など近年の課題を解決する必要があります。
- ・ 使用期間の1年あたりコストでは、改修よりも新築の方が市の負担は少なく済みます。建設物価の上昇が続いており、早めの建て替えが、より安くなります。

Q2

過去行った現庁舎の調査はどのようなものですか。 耐用年数の調査は行わないのですか。

A2

- ・ H21年度に、耐震診断としてコンクリート強度や中性化の深さの調査、建物のひびや劣化の現地確認調査を行い、鉄筋に至る中性化の一部進行や外壁の劣化等を確認しました。
- ・ その後のH30年の地震の影響などから、専門職員による現地調査もふまえ、標準的な耐用年数である60年を超えた使用はできないと判断しました。
- ・ 耐震診断の際の調査内容は現在も一般的なもので、建物の悪い状態は自然に回復しないため、再調査は不要と判断しています。
- ・ R7年8月には、市民団体から「現庁舎の残存耐用年数調査を求める請願」が議会に提出されましたが、同年の9月議会において「採択せず」として議決されました。

Q3

現庁舎の耐震改修をしないのはなぜですか。

A3

- ・ 現庁舎は、大規模な改修を行っておらず、耐震診断結果やH30年度の地震被害、その後の現地調査から、市が定める標準耐用年数（60年）を超えた使用はできないと判断しています。
- ・ 耐震化や設備更新など安全上必要な改修のみの試算でも、約55.2億円がかかります。
- ・ 改修（約4年）後に使用できるのは、2041年度までの約11～12年間で、その後新庁舎整備が必要です。
- ・ 改修後の新築となると、防災に関する有利な財源が使えず、物価上昇も更に進むため、試算では市の負担が70億円以上増えることとなります。

駅前周辺整備情報

駅前周辺整備に関する各種計画や説明会等の資料など、各事業の情報を、市ホームページに掲載しています。

右の二次元バーコードから、または市ホームページ内で検索ください。



新庁舎関係



こども総合センター
こども園関係



大田市駅前周辺地区
都市再生整備計画



大田市駅前
周辺東側土地
区画整理事業

問い合わせ先：大田市建設部新庁舎整備課

TEL：0854-83-8010 e-mail：o-shinchosha@city.oda.lg.jp